

学校法人 冬木学園
畿央大学
関西中央高等学校
畿央大学附属幼稚園

- 特集
ー地域連携ー
理事長に聞く
「地域と歩む冬木学園のこれまでとこれから」
畿央大学での取り組み
開学10周年記念『地域連携フェア』レポート
- シリーズ VOICE
■ シリーズ 私の先生・私の教え子



畿央大学正面玄関のイルミネーション

新校舎P棟・R棟の2014年5月末完成に向けて、工事が進んでいます。
開学10周年をむかえ、さらに充実した教育と研究をめざし、進化する畿央大学にご期待ください。

卒業関連行事

畿央大学 2013年度健康科学部

人間環境デザイン学科

『卒業研究・作品展』

日時 3月1日(土)10:00～18:00
2日(日)10:00～16:00

会場 奈良県文化会館
(入場無料)

昨年に引き続き、今年度も「卒業研究・作品展」は、奈良県文化会館で行います。
2013年度卒業生の卒業研究・作品あわせて45点が展示されます。ご来場をお待ちしております。

関西中央高等学校

表現・情報コース卒業記念公演

『本をめくれば』

1年生は、「伝える」を目標に身体と声の表情を模索します。2年生は、「作る」を目標に、小さな作品作りに挑戦します。3年生は、3年間の集大成「卒業記念公演」を実現させます。
少し成長した自分と向き合う高校生の姿を会場でご覧ください。

日時 2月22日(土)
13:30～16:00

会場 畿央大学 冬木記念ホール
(入場無料)

畿央大学附属幼稚園

生活発表会

毎年恒例の生活発表会が今年も桜井市民会館で行われます。
マーチング、オペレッタや和太鼓等、日頃の教育の成果をご覧ください。

日時 3月1日(土)
9時開演

会場 桜井市民会館
(入場無料)

昨年生活発表会の様子

編集後記

畿央大学10周年記念行事も「地域連携フェア」を最後に無事終了し、次のステージに向けてスタートしました。この1年は本誌『カトリア』を手に、記念イベントに参加いただいたお客様にお会いするなど、編集者冥利に尽きる年となりました。ありがとうございます。また2016年には冬木学園が創立70周年を迎えます。冬木学園3校は今後も連携しながら、ともに進化して参りますので、引き続きご支援をよろしくお願い致します。(M)

理事長に聞く

地域と歩む 冬木学園の これまでとこれから

冬木学園 理事長
冬木 智子



地域のニーズに応え、 発展してきた冬木学園

副理事長 冬木学園は、地域との関わりを大切に教育を展開してきました。設立も、結婚退職をした理事長が、教え子に「教えてほしい」と頼まれたことがきっかけでしたね。その後、地元のニーズに応じて洋裁学校となり発展してきましたが、他の学校とどのような違いがあったのでしょうか。

理事長 洋裁の技術だけでなく、「なぜその作業が必要なのか」といった基本から教えていた点だと思います。私は、基本を理解すれば応用でき、広い視野で技術と知識を会得できると考えています。洋裁に限らず、学問とはそういうものです。「学問」は「学び問う」と書きますが、「問う」とは疑問を持つことであり、もの見方のひとつです。それを教えることはとても大切だと感じています。

副理事長 授業だけでなく、地元の劇場でファッションショーを開催するなどユニークな取り組みをされましたが、どのような目的があったのですか。

理事長 学びの成果を地域の皆さんに見ていただきたいと思い開催しました。当時、ファッションショーは珍しかったので、生徒さんのご家族はもちろん、興味のある方々が集まり満席になりました。

副理事長 ファッションショーは、地域に文化を発信する役割を担ったと思います。これをきっかけに学園の認知度が高まり、生徒も増えたようですね。

理事長 はい。料理を学びたいという生徒も多くなったので、急遽調理室を建てました。調理器具は奈良の「わかばね割烹学園」からお借りし、その学園の助手の方

3名に指導をお願いしました。

副理事長 当時は、技術など多方面にわたった教育が主流になりつつありました。その風潮をいち早く感じて、和洋裁から料理といった家政全般を教えるようになったのですね。それも、地域連携によってニーズをくみ取った結果だと思います。

時代の流れを察知し、 高校、短期大学、大学の設立へ

副理事長 後に高等学校を設立しましたが、その動機やきっかけを教えてください。

理事長 世の中の意識が、知的な教育へ向き始めていると感じ、高等学校を設立しようと思いました。そのためには高校にふさわしい土地が必要ですから、簡単なことではありません。ところが土地を探すまでもなく、当時の町長さんに「開発中の地域に学校を建てませんか」と言っていたのです。それは、大和盆地が一望できる高台でした。見に行つたその日に「ここに高校を建てよう」と決めました。これもご縁ですね。

副理事長 そうして、東京オリンピック開催の昭和39年に桜井女子高等学校が設立されたのですね。昭和45年の大阪万博では生徒たちがバントントワリングを披露し、知名度が高まりました。

理事長 そうですね。しかしその頃はすでに、短期大学、男女共学の大学、と段階的な設立をめざしていました。短大設立後は、短大児童教育科の教育を生かせる幼稚園も必要だと思い付属幼稚園をつくりました。

副理事長 幼稚園では、地域と連携した様々な取り組みを継続して行っていますね。

理事長 はい。消防署・警察署のイベントなどへの参加はそのひとつです。発表会や保護者の方々が開催するバザーには、近隣の皆さんにも来ていただいていますよ。

自治体や団体との連携で 校内での学びを学外で活かす

副理事長 高等学校は、地域でのクリーンキャンペーンや地元中学生を迎えての授業体験など様々な取り組みを続けていますが、大学の地域連携はいかがですか。

理事長 平成18年、奈良市と連携協定を結んだのを皮切りに、高等学校や近隣の自治体、その他団体と連携し、成果を上げています。

例えば、教育委員会と協定を結ぶことによって、教育学部の学生が各小学校で学校インタースhipやボランティアを行うなど、日常的に交流できるようになりました。また、近隣の子どもを学内施設に集めて一緒に遊ぶ活動では、学生の教育に対する意識が高まっていると感じています。同時にこの活動は、地域の方々にコミュニティを提供する役割も担っていますね。

奈良県中央卸売市場との連携では、健康栄養学科の学生が中心となって奈良県の地野菜を使ったレシピを開発し、同市場参加のイベントに出展しました。理学療法学科は地域の高齢者を対象に運動指導を行い、人間環境デザイン学科は町おこしや古民家再生などを提案しています。

このように各学科の学生は、地域のニーズに応えた活動を企画し、継続的に取り組んでいます。こうした積極的な学外活動を通して、学内で学んだ技術と知識をしっかりと身に付けてほしいと思っています。

学外活動は 社会性と人間力を 養うチャンス



副理事長 さらに、大学内に地域連携センターを設置することによって、地域連携が強化されていますね。

理事長 昨年12月8日には、開学10周年記念行事のひとつとして、地域連携フェアを開催し

ました。こうした活動を通して、地元の方々にはこの土地に自信と誇りを持っていただきたいと思います。

畿央大学のある広陵町は、私が幼い頃、実家から見て憧れていた場所です。大学設立の候補地としてこの土地の見学に訪れたとき、二上山が夕陽を背景に美しく佇んでおり、幼少の記憶がよみがえりました。地元の方々にも広陵町の魅力を再確認していただきたいと思っています。

副理事長 昨年の冬木学園の公開講座『やまとフォークム』では、万葉集の二上山をテーマにした講演を行い、多くの方々がこの講座を楽しみにされているのがよくわかりました。こうした地域と連携した活動を通して、学生に期待することは何ですか。

理事長 学生の皆さんには、各学科の特色と地域が結びついた活動を「社会性や人間力を身に付けるチャンス」と捉えて取り組んでほしいと思っています。

関西中央高等学校の校章カトレアは、品があり人々を感動させる花です。大切に育てないと咲きませんが、一度花を開くと長く咲き続けます。冬木学園の建学の精神は「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」です。本学園の目標は、その精神を受け継ぎ、知性と品格を備えたカトレアのような人材を大切に育成することです。それは学内だけでなく、地域と連携し、建学の精神を具体化することで育まれると考えています。

今後も学生と地元の人々のためになる地域連携を継続し、質の向上を図っていききたいと思っています。

冬木学園 副理事長（インタビュー）

冬木 正彦



畿央大学理学療法学科の地域連携 理学療法の可能性を拡げる

近年の日本の健康問題として、超高齢化と生活習慣病があり、その対策として、全国で介護予防・保健事業が行われています。その中でも運動が重要でかつ定着しにくいいため、本人にあった運動を指導できる運動の専門家「理学療法士」が、社会に求められていると言えます。

しかし海外では、病氣や障がいのない方への予防・健康増進活動が理学療法の分野として確立していますが、日本ではほとんど実践されていません。そのため我々が関わっている地域での取り組みが、まさに研究・実践・教育の場になっています。医学部ではなく理学療法学科が地域と連携することは、理学療法の職域拡大、世界水準、そして、日本におけるエビデンスを築くことにつながり、今後ますます拡がっていくと考えられます。

地域と連携する場合は、一人ひとりの参加者に対する関わりだけではなく、地域、年代などの属性全体を多角的かつ客観的に分析・評価し、問題解決に向けての対策を検討していくことも必要です。市町村の保健センター・地域包括支援センターの保健師さんと運動教室を企画・運営していきますが、山間部では運動教室を開催しても、アクセスが悪く参加できない方も多いので、送迎バスを準備していただいたり、それとは逆に、その特定の地域に向いて巡回したりする方法もあります。また、子どもの体力向上にも関わっており、その場合、子ども個人の指導だけでなく、園全体での取り組みや親へもアプローチする方法を考えていきます。これらが積み重なれば、健康的なまちづくりにつながります。

具体的な取り組みとして、畿央大学がある広陵町では、保健センターと連携し、特定健診対象者への保健事業として大学の研究機器を使用した健康チェック・体力測定と6ヶ月間の運動教室を実施しています。また、奈良県健康長寿共同事業実行委員会の体操策定ワーキンググループとして、全国でもまだ実施されてい

なら健康長寿体操



ます。

具体的取り組みとして、畿央大学がある広陵町では、保健センターと連携し、特定健診対象者への保健事業として大学の研究機器を使用した健康チェック・体力測定と6ヶ月間の運動教室を実施しています。また、奈良県健康長寿共同事業実行委員会の体操策定ワーキンググループとして、全国でもまだ実施されてい

畿央大学 健康科学部
理学療法学科 助教
松本 大輔

ない誤嚥性肺炎・転倒予防を目的として「なら健康長寿体操仮称」を作成し、地域を巡回しながら調査研究・効果検証も同時に進めています。さらに「子ども体力・地域体力向上プロジェクト」として、NPO法人ボルベニルカシハラ、橿原市、㈱ミズノスポーツサービス、保育園、幼稚園と連携し、園児の体力向上に向けた調査と分析、運動内容の検討、効果検証を行いました。このように、子供から高齢者まであらゆる世代・地域に理学療法士は求められています。

地域連携は一度きりの関わりでは意味がなく、継続的に関わることで活動がより洗練されたものになります。そのためには、地域で活躍できる人材の育成も同時に進めていく必要があります。これは、大学の講義・実習だけでは難しいことです。やはり、学生自身が地域に出て、地域の方と触れ合うことが、たくさんの気づきや学び、そして、理学療法に一番大切な「困っている人を支えたい」という気持ちを育てることにもつながります。地域は絶好の教育の場であると思っています。

最後に、私自身が学生の模範となり、地域を支える理学療法士のリーダーとなるように邁進していきたいと思っています。

畿央大学看護医療学科の地域連携 離島・へき地でWin-Winをめざす



看護医療学科の4年次配当科目に「離島・へき地医療体験実習」があります。名前から想像すると「へき地医療」実習のようですが、そうではありません。地域で生活する中で健康やそれを支援する医療および看護を考える科目です。都市部よりも生活が見えやすいので離島やへき地に出かけています。

実習計画時に重要視したことは、実習先の住民と大学（学生や教員）がWin-Winの関係になること、つまり負担を我慢して実習を受けるものではなく、当事者同士お互いに利益がある、さらにはその地域にもメリットがある、いわゆる「三方よし」の精神です。

初年度に実習地となったのは鳥羽市にある離島でした。実習地のひとつの神島は人口400名ほどの小さな島で、本土からも高速船で40分ほど離れた場所にあり、高齢化率が40%を超えています。そこで、高齢者の健康管理で何か役に立てないかと考えました。

神島には小さな診療所が一つあります。医療だけでなく介護予防やグループホームの設置など保健医療福祉のすべてが一体となっています。大学は診療所と連携を取りながら島民の健康管理に役立つような調査として、生体に傷をつけることなく学生でも実施可能な体力測定や骨密度の測定などを行いました。看護医療学科だけでなく、理学療法学科の先生方にもご協力をいただき、身体機能、精神機能、生活習慣を総合的に評価していくことをめざしています。

初年度には、4月に離島へき地医療体験実習、夏休みに学内共同研究および卒業研究などの研究活動として神島を訪問し、合計100名以上の測定を行いました。データは診療所と共有し、島民の健康管理にも役立てていただいています。貴重な研究フィールドであり貴重なデータの蓄積です。学生にとつては保健医療福祉における地域と大学の連携に加わっての実習や研究が貴重な経験になっています。卒業後もこの経験が活かされると確信しています。

神島での取り組みは一定の成果があり成功していると考えています。しかし遠く離れた離島ではなく地元で貢献していくことも重要



と考えると、昨年度からは奈良県内でも実習をすることにしました。実習地のひとつの野迫川村は2011年の紀伊半島大水害の影響で未だ仮設住宅での生活を余儀なくされている方もおられる地域です。ここでは仮設住宅での長期間の生活が健康に影響を与えていないかを調べることにしました。この取り組みでも、住民と学生だけでなく地域にとつても利益になる取り組みとして、野迫川村の全面的な支援が得られました。今後は研究活動も加えてより地域との連携を強化していく予定です。

大学と地域の連携とは、教育や研究の場であるだけでなく「三方よし」になれる関係が大事であると考えています。

実習を受入れてもらう、研究をさせてもらう、地域のために何かをしてあげる、ということではなく、双方の需要と利益が一致していることが大切だと思います。いつても、地域の需要や利害を変えることはできませんので、大学が地域の需要や利害に合わせた供給をしていくことを心がけたいと思います。

畿央大学 健康科学部
看護医療学科 准教授
乾 富士男

畿央大学健康栄養学科の地域連携 「食」と「健康」で地域に貢献

大学運営には3つの柱があります。すなわち、教育、研究そして地域貢献です。貢献とは、「社会のために役立つように尽力すること」という意味であり、健康栄養学科では、学科の特性を生かし、今まで数多くの地域貢献に取り組みしてきました。

現在まで取り組んできたのは、学科が保有する知的資源、人的資源を地域活動に提供する、いわゆるソフト面での地域貢献です。学科の性質上「食」と「健康」に関わるが多く、地域住民の方々を対象としたもの、地元食材に関するもの、或いは公的機関や団体が主催するイベントに関するものなどです。

具体的なものとしては、地域住民の方々を本学に招いての健康増進指導、調理指導、地域の子ども達を招いての食育や健康増進指導、橿原市・橿原商工会議所との連携による地元産品を使った弁当やスイーツ、土産物の開発、大淀町・大淀町商工会との連携による日干番茶の機能性の解明とレシビの開発、川西町・川西町商工会との連携による結崎ネブカを使ったレシビの開発、奈良県と県内の管理栄養士養成校との連携による高校生、大学生への健康増進指導やヘルシー弁当の開発、奈良県中央卸売市場との連携による地元産品を使つてのレシビの開発や市場におけるイベントへの参加、その他食材メーカー、食品開発会社、食品流通会社などとの連携によるレシビや商品の開発などがあります。特に、橿原市・橿原商工会議所との連携事業は、2009年度に始まり、今年度で5年目を迎えました。



橿原のうまいもん市
(橿原連携商品販売)

地域連携の機会があることで、学校と地域や行政、団体、企業などとの交流も盛んになり、学校に閉じこもりがちな学生達に新鮮な刺激を与えることができるようになり、学生達も地元の食材や歴史に興味を持つようになりました。これらの取り組みが成果を上げるにつれ、学生の参加人数も増え、参加学生の意気込みにも目を見張るものがあります。地域連携事業を通じて、学生達は社会と接することになり、社会の仕組みを知り、今まで授業で学んで来たことを実際に生かす場を経験することにより、学びの大切さ



奈良県中央卸売市場
食祭市への出展

を知るようになります。そして、学生が成長していく姿を見るにつけ、大学運営の一つの柱である地域貢献が、いかに学生にとつて、また学校にとつて必要なことであるかを実感させられました。

学校の授業だけでは飽きたらず、学んだことを実践し、また学ぶ。まさに知的作業の繰り返しですが学生を成長させ、その延長線上にある就職活動や社会での活躍の原動力にもなっていると思います。



ネブカレシビ品評会

畿央大学 健康科学部
健康栄養学科 学科長
北田 善三

畿央大学人間環境デザイン学科の地域連携 吉野川まちづくりプロジェクト

2013年度、人間環境デザイン学科三井田プロジェクトゼミでは吉野川と連携し、吉野川をよりよくするための取り組みを行っています。

昔の吉野川は水がきれい、地元の生活用水としても使用され、子どもたちも毎日の遊び場として親しまれていましたが、近年ではライフスタイルや環境の変化により、住民の生活の場から遠ざかってしまいました。そこで、吉野川が吉野川の魅力を発信するため、畿央大学と学生が協力することになりました。



▲吉野・上市地域の施設提案



▲航空写真

それは「学生の目から見た吉野川への施設、橋、護岸整備の提案」魅力発信のための地図づくり「子どもの視点からみた吉野川を考えるためのアンケート調査」の3本柱で成り立っています。

学生の提案と、地図づくりに関してはワークショップ形式で話し合いを行っています。

全4回のワークショップを開催予定しており、9月に行つた1回目のワークショップでは、「吉野川のこれまで・いま・これから」をテーマに、地元の人たちから吉野川の過去、現在、未来の魅力と課題に関しての意見を集約しました。約1000分の1の航空写真を使用し、上流と下流の二つのグループに分け、時間をかけ吉野川の思い出と地元の方々の想いを語っていただきました。

2回目(11月)には、初回の意見をもとに、大学側から吉野川の改善のための施設や橋、護岸デザインへの提案を行い、その案に対して地元の方から意見をいただきました。

吉野川は(吉野町内の)下流と上流で環境とイメージがまったく違うため、提案も下流の吉野・下市地域と上流の国栖・中荘地域のそれぞれの地域に分けて考えました。吉野・下市地域ではお土産屋とシャワー・着替え室を備えた休憩所を提案。橋は、かつて流れ橋と呼ばれていた木



▲2回目ワークショップの様子



▲国栖地域の施設提案

造の歩行者だけが通る簡易な橋を模したものが提案されました。国栖・中荘地域にはモルディブをイメージした可動式宿泊施設やバーベキュー施設、橋は逆ローゼ橋を提案。護岸に関しては桜の植栽や、自然護岸、石垣のような護岸が提案されました。住民からはデザインの話よりも、メンテナンスや運営などを中心にした提案を求める声もありましたが、夢があつていい、という前向きな意見も出されました。

学生たちは、教員や専門家からの批評や意見を聞くことには慣れています。一般の方の素朴な生活の視点からの意見を聞くことは初めてで、戸惑う場面も多かったようです。また、その意見をどこまで自分たちの作品に取り入れたらいいのか、悩んでいるようです。

畿央大学 健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記

畿央大学現代教育学科の地域連携 誰にでもわかりやすい教材をめざして

「平成25年度版 障害者白書」によると、特別支援学校及び小学校、中学校の特別支援学級等の在籍者数は総計で36万6千人であり、そのうちの30万2千人が義務教育段階の児童・生徒です。この人数は全学齢児童生徒数の約2・9%で、特別な支援が必要な児童・生徒に対し、その能力や可能性を最大限に伸ばし自立し、社会参加するために必要な力を養うために、一人ひとりの障がいの状態に応じた指導を行うことが必要とされています。

開学10周年記念の地域連携フェアでは、平成23年度より奈良県立奈良養護学校との共同研究で開発されたデジタル教材を電子黒板やタブレットPCを利用し展示することで、奈良養護学校との取り組みを紹介し、デジタル教材を地域の方々にご体験いただきました。動物の鳴き声が聞こえたり、画面いっぱい花火があがったり、「たまごひよこ」にわたりつたまご↓...というストーリーを絵で楽しんだり、などの教材を用意することで、未就学の子どもたちや特別な支援を必要とする子どもたちに楽しんでいただきました。これらの教材は奈良養護学校の先生方や教育学部4回生の喜多智大君らが開発しました。文字に頼らず、視覚や聴覚に訴えることができること、また、画面をタッチしたり、マウスの代用となるスイッチを利用したりできることなどが特徴的です。

当日は、奈良養護学校の児童・生徒やご家族のみなさん、先生方にも多数ご来場いただきました。学校やご家庭での様子、教材へのリクエストなど一同に会して話し合うことができ、特別な支援を必要とする子どもたちを持つ保護者



の方々の思いを学生が直接伺うことができたのは貴重な機会でした。

また、奈良養護学校以外の特別支援学校の先生方や児童・生徒のみなさんらもご来場いただき、このような教材を所属する学校や家庭でも使いたいというご要望をいただきました。今後、自作教材をアップロードしたり、その教材の使い方や子どもたちの様子を投稿したりできる、デジタル教材のデータベースを開発する予定です。

特別支援教育で使われる教材は、対象となる子どもたち一人ひとりの状態によって、内容や提示方法などの工夫が必要であり、個別に変化を付けやすい、繰り返ししやすい、データを蓄積しやすいなど「デジタル」の特徴を活かすことができます。一方で、「使いやすい」デジタル教材の開発には、多少のプログラミング能力も必要であり、「情報に強い」学生を今後も輩出し、地域に貢献したいと考えています。

なお、今回、ブースを設営するにあたり、1階である、駐車場から近い、多目的トイレが近い、寒くないようにする、通路を広く確保するなど、大学の建物自体のユニバーサル化を考えるよい機会となりました。今後は教材だけではなく、誰もが学びやすい教育環境を整えることもめざしていきたいと考えます。

畿央大学 教育学部
現代教育学科 教授
西端 律子



畿央大学開学10周年記念

『地域連携フェア』を開催

畿央大学は、今年度開学10周年を迎え、数々の記念イベントを展開してまいりました。その1年を締めくくるイベントとして2013年12月8日(日)に『地域連携フェア』を開催しました。この10年間に、地域の行政・商工団体・企業など各界の皆様と連携した、まちづくり、健康づくり、新商品開発などの成果や経緯等について、地域の皆様に知っていただくことにより、さらなるご支援・ご協力をいただきたいとの願いを込めて企画したものです。

当日は「連携商品販売」「ワークショップ・体験型イベント」「ポスター・作品展示」「ステージ・ゆるキャラ」の大きく4つの内容を提供しました。みなさまとともに創造してきたものを見て・触って・食べて・楽しんでいただく盛りだくさんのプログラムで、ご来場いただいた約1500人の方々に満足いただけたのではないかと思います。

ワークショップ・体験型イベント	21 会場
連携商品販売	15 店舗
ステージ出演	10 グループ
ゆるキャラ	9 体
ポスター・作品展示	25 展示

(協力学生 292人、教職員約 80名)



■連携商品販売

- 管理栄養士の卵が考えたバランス弁当
(JR西日本デیلیーサービスネット他)
- 新鮮野菜販売 臨時「こーちゃん広場」(丸広出荷組合)
- 大豆スイーツ(植嶋)
- パン、クッキー(御所園)
- 結崎ネブカ、焼そば(川西町商工会)

- 日干番茶とお菓子(大淀町商工会)
- 合格割り箸、特産物(下市町商工会)
- 和菓子(しょうが)(鈴音堂)
- 和菓子(葛、しょうが)(湖月堂)
- スイーツ、昆布(居内商店)

- 柿の葉寿司、おむすび(平宗)
- しょうがパウンドケーキ(河合酒造)
- 洋菓子(プティ・アルシェ)
- 繊維製品(異繊維工業所)
- とんぼ玉(出合里 鹿や園)

■出展事業所の声

檀原コラボ事業で関わった学生さんに和菓子の販売をしていただきました。職人としてレシピ開発での相談にも応じていますが、いつも斬新なアイデアに感謝しています！
(山本鈴音堂)



■来場者の声

商品開発に関わった学生さんの手から直接、販売・試食させていただくことができ、情熱が伝わりました。学生さんの対応が好印象でした。
(60代・女性)

大学と連携事業や共同開発・研究を行ってきた事業所・商工会のみなさんに出店していただきました。

■ポスター・作品展示

- 檀原商工会議所連携プロジェクト紹介
- 旧長柄郵便局再生プロジェクト展示会(御所市)
- 学生店舗モニター
- 風の音を聴くバードハウス
- 冒険遊び場紹介
- 避難タワー「森のクマゲラ」(奈良県商工会連合会)
- 転倒予防靴下の開発(岡本靴下)
- 講演会資料データのスライド展示
- 葛の研究
- 広陵町なすの研究
- 廃棄果実からバイオエタノールができる

- 干し柿についての研究
- 大学ヘルスチーム菜良の活動報告
- 奈良県中央卸売市場
- やまとフォーラム(夏の公開講座)
- FEP(冬木学園教育推進プロジェクト)ホール企画
- 市町村連携パネル
- 大橋一真絵画展(人間環境デザイン学科卒業生)
- 河野葵写真展(健康栄養学科卒業生)
- ボランティア活動報告
- おいね製作プロジェクト
- 草木を染色材料にした染めもの体験
- 女性フィットネスクラブ カーブス
- ポルベニルカシハラスポーツクラブ
- グリーン&歴史ウオーク(エコール・マミ)



■出展した卒業生の声

アマチュアですが、「ステキ」と思った瞬間をそのまま切り取る写真の楽しさを知り、今でも趣味で撮り続けています。いつか個展をしたいと思っていたのですが、大好きな母校でこんなに早く夢が叶ってうれしいです。
(健康栄養学科4期生河野葵)

教員や地域連携の研究発表、ボランティア活動報告、卒業生による絵画展・写真展など多くの展示を行いました。

■ワークショップ・体験型イベント

- 子ども体力測定
- 冒険遊び場
- ソックKARAモンキーづくり
- 特別支援デジタル教材の体験
- こどもこうさくの部屋
- 積み木体験!
- 大和かるたで遊ぼう
- ロボットで遊ぼう
- わらべうたひろば
- 子ども英語活動
- 絵本を楽しもう
- まちのほけん室
- 健康クイックチェック
- 健康バランスチェック
→なら健康長寿体操
- 着て、見て、体験!未来予想'S



■企画運営教員の声

地域の方々を招いてというだけでなく、地域で活動しているネットワークと大学教職員とのコラボレーションでイベントを作ることができたのはよい経験でした。
(災害への取組み看護医療学科企画)

学科により様々な体験コーナーが設けられ、幅広い年齢層の方々に、体験を通してともに学び、また楽しんでいただきました。

■ステージ・ゆるキャラ

- ナライガーショー
- モノマネSHOW(SHADOW'S MONOMANE SHOW)
- 漫オライブ(鳥肌、プリの白子)
- アカベラLIVE(アカベラ部ADVANCE#)
- 弾き語りLIVE(すごけん)
- ソーラン節(学生有志)
- チアリーディング・チアダンス(TINKERS)
- ジャグリングLIVE(ジャグリング部)
- 広げようボランティアのWA!(ボランティア体験学生)
- せんとくん
ー海づくりバージョンー(奈良県)
- かぐや姫衣装(広陵町)
- かぐやちゃん(広陵町商工会)

- こだいちゃん(檀原市)
- さららちゃん(檀原市)
- パゴちゃん(斑鳩町)
- マーミン・ミーマン(エコール・マミ)
- みくちゃん(大和高田市)

■出演クラブ代表者の声

たくさんのお客様が笑顔で、ホールでの私たちの舞台を楽しんで下さって、私たちも楽しんで全力で演技することができました。お客様、出演者、スタッフ……と関係者どうし人のつながりを感じました。イベントに関わることが出来て、本当に良かったです。
(ジャグリングクラブ)



学生によるパフォーマンスが野外ステージと冬木記念ホールで披露されました。卒業生の出演、奈良のご当地ヒーロー「YAMATO 超人ナライガー」の登場に加え、連携協定を締結している自治体等のゆるキャラたちの登場で、とても盛り上がりました。

畿央大学との連携事業は 5年目を迎えました！

橿原商工会議所iチャレンジ特別委員会
委員長 岡橋 守幸 さん



畿央大学と橿原商工会議所の連携事業も5年を迎えることができ、関係者の皆様方のご協力のおかげで沢山の商品世に送り出すことができました。

この事業は、数多くの文化・歴史遺産をはじめ奈良の中核都市である「橿原」を一人でも多くの方に知っていただきたいことと、将来を担う学生に商いの面白さ、厳しさを学び就職に活かしてもらいたいという両者の想いが一致して今日を迎えています。

平成25年度は『かしはら生姜レシビ開発』に取り組みました。今までこのプロジェクトに参加し、巣立った学生の方々も多く社会で活躍されていること

と思います。また、このプロジェクトに関わっていただいた橿原商工会議所事業所の方々におきましても学生の皆さんが発案した商品を愛し、今も販売を続けていただき、多くの方に支持をいただいております。

私は日ごろから橿原市のまち全体が活性化することを望んでおります。そのためには人の出合いが大事です。学生、事業者、商工会議所、橿原市、さまざまな立場の人が関わり様々な個性や考え方が交わることで元気なエネルギーが生まれています。これからも、この事業を通じてお互いが発展する事を願っています。



娘の成長

玉井 淳子 さん

畿央大学付属幼稚園
さくら組(年長)園児
夏央ちゃん 保護者



娘の夏央は、付属幼稚園での三年間で体の成長はもちろん、心も大きく成長しました。

年少の時は園生活が新鮮で毎日を楽しそうに過ごしていました。しかし、年中になり、運動会前になると練習の時にも涙を流すようになりました。上手に踊れない……、ビリになるのがはずかしい……、そんなことが理由で休みたがる日もありました。運動会当日も先生方が、泣いている娘の手をひき誘導を下さっていました。年長になると、先生方のご指導の甲斐もあり、自分から「みんなと一緒にがんばる！」と言い、運動会の練習から当日までお友達と一緒にがんばる娘の姿を見ることができました。

先日行われたマラソン大会では先生に「ビリでも夏央はがんばるね！」と言ったそうです。そんな様子を聞き、三年間で大きく成長したなと感心し、今後の成長もますます楽しみになりました。幼稚園でのご指導に感謝しています。

夢を実現する力

吉田 かおる さん

関西中央高等学校 2006年卒業
日本ペイント株式会社勤務



高校に在籍中の三年間は勉強とバトンに明け暮れました。バトンがたくて関西中央高等学校に入学した私は、迷わずバトン部に入部。しかし特進コースの早朝0限から8限までの授業は今まで経験したことのないほど過酷なもので、バトンとの両立は甘くはありませんでした。しかし、私には立命館大学に入学して、バトンをする夢があったので、そのために寝る間も惜しんで頑張りました。先生方はそんな私を応援し、部活後遅くまで残って受験勉強をご指導下さいました。三年生の11月の大会で部活を引退し、本格的な受験勉強はここからでしたが、努力の甲斐あって無事立命館大学に合格でき、憧れの立命バトン部の一員となることができました。こうして私の夢は叶えられ、また、大学在学中に世界大会の出場メンバーにも入ることができました。大学卒業後、バトンチームを持つ日本ペイントに就職し、今も現役選手として活動する傍ら、県内のあすかスポーツバトンクラブと、母校である関西中央高等学校のバトン部のコーチをさせていただいています。

高校での三年間で培ったものは、夢を実現する力でした。多くの先生方に支えられ夢に向かって邁進した三年間は私の人生においてかけがえのないものです。

すべてに感謝

稲葉 時子(旧姓:間亭谷) さん

桜井女子短期大学 1980年卒業



短期大学を卒業し、早くも30年余りになります。京都丹後の天橋立を真正面に海を眺める料理屋に生まれ、大学では栄養学を学び、お陰様で現在丹後の宮津で主人とともに『料亭ふみや』の女将として毎日を忙しく過ごしております。経営の大変さや人間関係の難しさに何度も押し潰されそうになりましたが、大学での経験、家族、大切な信頼のおける友人、スタッフ、お客様に支えて頂き今があります。

宮津は海山に囲まれ歴史の深い町で四季を通じ美味しい魚がとれます。このような素晴らしい環境の中で仕事をさせて頂いています事に心から感謝いたしております。

「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」の教えを忘れず、あらゆるものに感謝をして、自分らしくおもてなし、料理にたたくまいが心地よくお客様の心に届くように努力して参ります。冬木学園の更なるご発展と先生方の益々の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

※上の写真は、吉本芸人「たむらけんじ」さんが来られた時のものです。

私の先生

私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけではなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

森岡 周 先生「畿央大学大学院健康科学研究科 主任」
厳しく楽しく



大住 倫弘 さん
医療法人 至仁会 摂南総合病院 理学療法士
畿央大学大学院健康科学研究科博士後期課程

森岡先生との最初の出会いは、学部一回生の時の見学実習前オリエンテーションでした。当時の私は、夏休みをとっても満喫しており、長髪パーマの茶髪でした。その時に、森岡先生から圧倒的な存在感で、容姿を厳しく指導されたことを記憶しています。かなり恐かったです(笑)。そんな私も森岡先生の研究室で「痛み」の研究をする

ことになりました。現在は博士後期課程ですが、臨床・研究とも分らないことが増えていくばかりで、どちらもスキルアップが相当に必要であると痛感しているところ。森岡先生がいつもおっしゃっている「人間を理解する」には相当な年輪が必要と感じています。森岡先生に対して最も感謝しているのは、長髪パーマの茶髪だった私に、一生を懸けてやるべきことを見つけたきっかけを与えてくださったことです。これからも「人間を理解するため」に、臨床・研究とも研鑽して、将来はしっかりと形で社会貢献できるようにしたいと思います。

伊藤 明子 先生「畿央大学健康科学部看護医療学科 学科長」
一期一会



喜島 一将 さん
畿央大学
健康科学部看護医療学科2回生

10年ほど社会人を経験した後、受験生として十数年ぶりに参考書と向き合う日々。無事公募推薦入試にて合格させて頂き、平成24年2月のプレエントランスセミナーに参加。伊藤先生と初めてお会いしたのはこの時です。周囲は十代の女性ばかり。唯一の男性かつ三十代の自分はとても場違いな雰囲気を感じ出しているのではと思う、「4年間、やって行けるだろうか」という

一抹の不安も頭の中をよぎっていました。そんな時に先生から「是非入学して下さいね」と優しい笑顔で声を掛けて頂き、勇気づけられた事をよく覚えています。入学後は授業や課外活動において、様々な指導・ご鞭撻を頂き今に至っております。その中で感じる事は、不安で一杯だった自分を瞬時に元氣付けたあの時と同じ笑顔と安心感。医療職を志す者として最も大切なスキルの一つを、図らずも入学前から実体験を通して教わったように思えます。今後、僥倖ながら先生のお人柄を最良のお手本とさせて頂き、立派な看護師になれるよう邁進致します！ これからも宜しくお願い致します。

廣瀬 よし子 先生「畿央大学教育学部現代教育学科 准教授」
私たちの先生 廣瀬先生



湊 知恵 さん
畿央大学
教育学部現代教育学科4回生

廣瀬先生は笑顔がとても魅力的な先生で、先生の笑顔を見ると私も笑顔になり、元氣が出てきます。研究室ではいつも笑顔で出迎えてくださり、学校現場のことなどを教えていただき、楽しく充実した時間が過ごせます。

教員採用試験の勉強で行き詰った時も私の話を聞き、私に合った勉強の仕方や励ましの言葉をくださいました。先生は試験に対する不安な重い気持ちを少しでも軽くするように接し、夜遅くまで私の勉強に付き

合ってくださいました。先生の指導があったからこそ、採用試験に合格することができたと感じています。合格の報告をしたときも自分のことのように喜んでくださいました。良い結果報告ができたことで少しだけ恩返しできたのかなと思います。これから教員として働くにあたって不安もありますが、いつも親身になって相談にのってください先生がいらっしゃることを忘れずがんばっていきます。人生の先輩としてこれからも廣瀬先生のことを慕っていきます。

Comment

湊さんをお菓子に例えると「最中」です。最中は皮だけだと崩れ易くて味が薄いのが、中に餡が入ると崩れなくて食べ易く甘くておいしく幸せな気分。彼女はみんなを笑顔にして、自らも笑顔を絶やさない。教員採用試験、卒業論文にも自分らしい餡を詰めて笑顔で乗り切りました。4月からは、奈良県の先生です。子どもたちが笑顔で「分かった!」「できた!」とハッピーな知恵餡の詰まった最中のような学級を誕生させてくれる教師誕生! 私の自慢星の誕生です。

『歌ってくれた♪HAPPY BIRTHDAY TO 先生♪
星たちの声をこの掌からはなす』



車谷 充 先生「関西中央高等学校 3年1組担任 バレーボール部顧問」
貴重な経験ができた3年間



池田 雄太 さん
関西中央高等学校
スタンダードコース3年1組

私は、高校生活が始まってから目標というものがありませんでした。自分自身、「何かこれをやってみたい。」というものが見つけられずにいました。

ところがある日、担任であつた車谷先生から、「生徒会の中央役員会に入らないか」と声をかけて頂きました。最初は驚き、戸

惑いました。しかし役員会に入れば自分自身何かが変わるのではないかと思い、役員会に入ることを決意しました。私は一年生の10月から二年間生徒会役員として活動し、とても貴重な経験をするこことが出来ました。私は、生徒会役員をするきっかけを作ってください、目標というとても大切なものを見つけてさしてくださった車谷先生に感謝しています。そして、先生から教わった様々な事をこれからの将来に活かしていきたいと思っています。

Comment

池田君は入学して以来、様々な場面で本当によく活躍してくれました。1年生のときに生徒会の中央役員に選出されて以来、「やるからには!」という気持ちで積極的に取り組み、生徒会長を支えてくれました。クラスでも、「縁の下力持ち」として皆を支えてくれました。彼のそういう姿勢には本当に頭が下がります。進路についてはいろいろ悩んだ結果、四年制の大学に進学し、歴史について学ぶことを決めてくれました。

今後の活躍に期待したいと思います。



Comment

現在、大住君は博士後期課程に在籍している院生ですが、森岡研究室、いや本学ニューロリハビリテーション研究センターにとってかけがえのない存在になっています。その理由は、自己研鑽の意識だけでなく、自己犠牲のもと他者援助の意識を強く持ち得ているからです。そして自分の立ち位置をしっかりと認識し、謙虚かつ社会的にどのように振る舞うべきかを考えて行動できます。自己意識と他者理解、この両者が彼の専門とする痛みの脳研究にも活かされています。その分野の世界的な旗手とした活躍を彼には期待しています。



畿央大学

6日(土) 後援会総会・保護者懇談会
7日(日) 臨床栄養シンポジウム
13日(土)・14日(日) オープンキャンパス
27日(土) 第8回バッククッキング講習会
27日(土) FEPホール企画ソング・ソルナ
ムフルート演奏会



ソング・ソルナムフルート演奏会

4日(日) 運動器リハビリテーションセミ
ナー応用編
7日(水) 総校会(同窓会)総会
16日(金) 教職員のための夏の公開講座
17日(土)・18日(日) オープンキャンパス
24日(土) 理学療法特別講演会
25日(日) ひらめき☆ときめきサイエンス
31日(土) 看護医療学科シンポジウム
ひらめき☆ときめきサイエンス



ひらめき☆ときめきサイエンス

1日(日) 第5回やまとフォーラム
15日(日) オープンキャンパス
28日(土)・29日(日) ニューロリハビリ
テーションセミナー応用編
やまとフォーラム



やまとフォーラム

3日(木) 広陵町との包括連携協定調印式
6日(日) オープンキャンパス
19日(土)・20日(日) 畿央祭・ウエルカム
キャンパス・ホームカミングデー
27日(日) 運動器リハビリテーション
セミナー臨床編



畿央祭

9日(土)・10日(日)・17日(日)
公募推薦入試
12日(火) 斑鳩町との包括連携協定調印式
20日(水) ナント元気企業マッチング
フェア2013出展
24日(日) オープンキャンパス
30日(土)・12月1日(日)
ニューロリハビリテーション
セミナー臨床編



斑鳩町との協定調印式

12月

8日(日) 地域連携フェア
15日(日) プレ・エントランスセミナー



プレエントランスセミナー

関西中央
高等学校

9日(火)・11日(木)
部活応援プロジェクト
心理検査結果解説
10日(水) 部活応援プロジェクト
トレーニングサポート



部活応援プロジェクト

11日(木)・31日(水)
特進・畿央コース 夏期講習
27日(土) 第1回オープンスクール

8日(木)・9日(金)
畿央コース看護クラス校外授業
22日(木) 基礎力診断テスト
24日(土) 第2回オープンスクール
26日(月) 情報授業の研修会



情報授業の研修会

9月5日(木)・6日(金) 蘭校祭
26日(木) 体育祭
30日(月)・10月2日(水)
校内合宿(特進・表現・情報)



蘭校祭

2日(水) 2年進路ガイダンス
2日(水)・4日(金)・
7日(月)・9日(水)・
9日(水)・11日(金)
校内合宿(スタンダード)
7日(月) 生徒会交代式
12日(土) 第1回入試説明会
25日(金)・26日(土)
リーダー
研修会
30日(水) 1年進路
ガイダンス
生徒会交代式



生徒会交代式

6日(水) クリーンキャンペーン
9日(土) 第2回入試説明会
16日(土) 名張地区入試説明会
21日(木) 外務省高校講座
24日(日)・27日(水) 修学旅行
26日(火) 3年生校外学習
28日(木) 表現・情報1年校外授業



修学旅行

2日(月) 創設のころを偲ぶついで



創設のころを偲ぶついで

5日(木) 人権教育職員研修
6日(金) 部活応援プロジェクト1年対
象講演会
7日(土) 第3回入試説明会
11日(水)・27日(金) 特別冬期講習
21日(土) 第1回入試対策説明会
23日(月) 第2回入試対策説明会

畿央大学
付属幼稚園

4日(木) セタ保育参観
13日(土) 親子交流会
17日(水) オープンガーデン
21日(日)・22日(月) お泊り保育(年中)
30日(火)・1日(木) 夏期自由保育



お泊まり保育

2日(金)・23日(金) オープンガーデン
24日(土) 清掃作業
28日(水)・30日(金) 夏期自由保育



夏期自由保育

6日(金)・7日(土)
卒園旅行(年長)
14日(土) 家族(敬老)参観



卒園旅行

12日(土) 秋季運動会
19日(土) 畿央大学大学祭参加
21日(月) オープンガーデン
24日(木) 秋の遠足
27日(日) バザー展
運動会



運動会

5日(火) 防火訓練
7日(木)・30日(土) オープンガーデン
14日(木) 警察・消防署訪問
29日(金) 子ども成長・造形展



子ども成長・造形展

5日(木) おもちつき大会
6日(金) 交通安全人形劇
9日(月) バイキング給食
11日(水) マラソン大会
13日(金) クリスマス会



お餅つき大会

畿校会

畿央大学・畿央大学短期大学部・
桜井女子短期大学同窓会

ホームカミングデー
畿央祭で『同窓会サロン』
を開催しました！

第11回畿央祭(10月19日・20日)にあわせて『同窓会サロン』を開設しました。
今年で5回目となるサロン。ホームカミングデーとして、同窓会の恒例行事となつています。
2日間で218名(畿央大学卒業生190名、畿央短大7名、桜井女子短大21名)もの卒業生にご来場いただき、終日賑わっていました。
時折、先生方もサロンのぞきに來てくださり、お越しいただいたみなさんには懐かしい恩師や旧友との再会を喜んでいただきました。



平成26年度の畿校会総会は、
2014年5月18日(日)です。

美味しいランチをいただきながら、みなさんの近況報告やビンゴゲーム大会を行います！
懐かしい友達や先輩、先生方に会えるチャンスです！
ふるってご参加ください。



..... 桜井女子高等学校 同窓会 蘭友会 総会のご案内

- ▶ 日 時：平成26年4月20日(日)午前10時～
- ▶ 場 所：関西中央高等学校
- ・メモリアルホール
… 総会・アトラクション
(フォークソング・一緒に歌おう)
- ・カトリア食堂
… 立食による懇親会(予定)

蘭友会総会も皆様のお陰をもちまして第48回を迎えることになります。
次回総会は左記の日程で開催いたします。
皆様お誘い合わせのうえ、ぜひ一度進化した母校にお越しください。
多数のご参加をお待ちしております。



◀平成25年蘭友会総会

畿校会同窓会レポート

桜井女子短期大学卒業生は「10名以上で2万円」、それ以外の卒業生は「15名以上で3万円」を補助します。



当時のテーマは「ふる」。
まるいポーズで記念写真をとりました！

■2009年

畿央祭実行委員会メンバーで
同窓会を行いました！

10月19日(土) 集まったのは教育学部・健康科学部の卒業生あわせて16名。委員長と副委員長は気合を入れて「当時のツナギ」を着用しての参戦でした！
みんな現在は教師や看護師、理学療法士など様々な職業に就いています。



■理学療法学科
5期生同窓会！

10月19日(土) 社会人3年目。時々集まっていますが、今回は今までで最高人数の32人の同窓会となり、話が尽きることなく大盛り上がりでした。
久しぶりに会う友だちもいましたがが学生時代から変わらないノリで社会人ということをお忘れしてしまうほどでした。



■高校情報教育実習報告会 &
同窓会を開催しました！

10月5日(土) 高校(情報)免許課程は畿央大学教育学部1期生より設置されていましたが、本年度(5期生) 限りで閉課程となります。そこで、今までの免許取得者を大学に招いて、学部生の教育実習報告会、卒業生による模擬授業を行い、その後、場所を移して同窓会(懇親会)を行いました。参加者のゼミは「情報系」だけでなく、保育、幼児教育、養護、教育政策など多様でしたので、先輩同輩後輩ごっちゃになり、初めて話す方とも交流が持てました。



■12月21日(土) 理学療法学科
7期生(2013年3月卒)の
初めての同窓会！

学生時代から、毎年新年会をしたり、キャンプやボードにみんなで行くなど、仲の良い学年でした。
今回の同窓会では30人が集まり、話も尽きることなく楽しく過ごせました。卒業後も集まって、変わらない雰囲気でも過ごせて素敵です。

今後も積極的に同窓会を企画していきたいと思っておりますので、今回来ることができなかった人も集まって笑いあいましょう！

■ 畿央大学2014年度入試概要と結果(中間報告)

募集人員											(人)
学部	学科	入学 定員	AO 入試	公募 推薦 入試	一般入試			センター試験 利用入試			社会人 入試
					前期	中期	後期	前期	中期	後期	
健康科	理 学 療 法	70	3	29	23	4	2	6	2	1	若干名
	看 護 医 療	90	3	40	30	6	2	6	2	1	若干名
	健 康 栄 養	90	3	38	32	6	2	6	2	1	若干名
	人間環境デザイン	50	3	22	14	4	2	3	1	1	若干名
教 育	現 代 教 育	195	6	90	64	16	4	9	4	2	若干名

入学試験日程					
試験区分・日程		試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
一般入試	前期A日程	1月22日(水)	本学／名古屋 京都／大阪 岡山	1月 6日(月)～1月15日(水)	2月 3日(月)
	前期B日程	1月23日(木)	本学／大阪／岡山		
	前期C日程	1月26日(日)	本学／大阪		
	中期日程	2月19日(水)	本学／大阪		
	後期日程	3月10日(月)	本学／大阪		
センター 利用入試	前期日程	—	独自試験なし	1月 6日(月)～1月15日(水)	2月 8日(土)
	中期日程	—		1月27日(月)～2月10日(月)	2月25日(火)
	後期日程	—		2月17日(月)～3月 3日(月)	3月15日(土)

3 年次編入学試験日程(教育学部)					
試験区分	募集人員	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
後期日程	1名	2月9日(日)	本学	1月20日(月)～1月31日(金)	2月15日(土)

■ 畿央大学大学院 入試概要

募集人員					(人)
課 程	募集人員		修業年限		
	1 期	2 期			
健 康 科 学 研 究 科 修 士	15名	5名	2年		
健康科学研究科博士後期	3名	2名	3年		
教 育 学 研 究 科 修 士	7名	3名	2年		

入学試験日程					
試験区分	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日	
2期	2月9日(日)	本学	1月20日(月)～1月31日(金)	2月15日(土)	

■ 畿央大学助産学専攻科 入試概要

入学試験日程					
試験区分	募集人員	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
一般	4名	2月9日(日)	本学	1月20日(月)～1月31日(金)	2月15日(土)

公募推薦入試結果

2014年度入試シーズンをむかえ、11月には公募推薦入試が実施されました。経済不況を背景に、就職に強い畿央大学の人気は続いています。さらに2014年度は5学科中4学科で定員増が予定されているため、志願者は6年連続の増加となりました。中でも目立ったのは健康栄養学科と現代教育学科で、13～14%の増加となりました。両学科は定員の増加率が昨年の1.3倍と大きかったため人気化しました。ただし合格者数も増えたことから、倍率はややダウンしました。

理学療法学科と人間環境デザイン学科も小幅ながら志願者は増加しました。全国的な資格志向や理系志向も原因ですが、定員の増加も理由の一つと考えられます。一方、看護医療学科については定員増の予定はなく、また今年は看護系の新增設大学が多いことから志願者数の減少が予想されましたが、昨年並みの志願者を集めました。一方で合格者数が絞込まれたため、倍率はアップしました。レベル的にもやや上がっており、合格最低点は5学科中一番高くなりました。

年明けからは一般入試・センター試験利用入試の出願が始まっています。資格志向や実学志向の流れに変化はなく、畿央大学は一般入試やセンター利用入試でも多くの受験生を集めそうです。ただし、近年の志願者の増加で難易度が上昇していることから、前年の倍率を見ながらの出願となりそうです。

大学院の入試について

9月に行われた健康科学研究科の1期入試の志願者数は、修士課程13名で昨年並みとなっています。一方、10月末には教育学研究科が認可されました。健康科学研究科と同様に、インターネットによる配信や夜間の授業など、社会人の学修に配慮した内容となっています。12月に実施した1期入試では志願者、合格者とも2名となりました。2月には両研究科そろって2期入試が実施されますが、問い合わせも徐々に増えてきているので、志願者の増加が期待されます。

助産学専攻科の入試について

3年目となる助産学専攻科は、10月の推薦入試で5名の志願者を集めました。昨年に比べて内部からの希望者がやや減少しています。助産学専攻科の受験資格は看護師免許を有する女性で、4年制大学卒業の学位を持つこととなっています。本学看護医療学科卒業生がそのまま進学することもできますし、他大学卒業生や、社会人経験者も入学可能です。2月の一般入試の志願者が増えることを期待しています。



キャリアセンター・教職支援センターに対する学生の声

 キャリアセンターには、本当に感謝しています。就職活動で悩んでいることがあれば、とにかくキャリアセンターに相談に行っていました。お忙しい中でも、自信がつくようなアドバイスをくれ、就職試験にも自信を持って臨むことができました。就職活動始めの頃は自分の志望する企業の特徴を伝えると、様々の候補を挙げてくれたり、履歴書の添削では、何度も訂正していただいたり、随分お世話になりました。



私にとって教職支援センターの存在はとても大きかったです。教職支援センターには専門の先生がいて、細かくアドバイスをくださいます。同じ目標を持った友達がいっしょに一緒に「絶対に合格してやる!」と、とてもやる気が出ました。スロースタートの私でしたが、このやる気の出る環境が私を合格へと導いてくれたのだと確信しています。教職支援センターが無ければ私の望みは叶わなかったです。

畿央大学 2013 年度就職状況

この春卒業予定の大学生の昨年10月1日時点の就職内定率は64・3%で、前年同期より1・2ポイント上昇しましたが、文部科学省と厚生労働省の調査で分かりました。それでもなお、約40%の学生の進路は決まっておらず、薄日は射したとはいえ依然と厳しい状況には変わりはありません。そのような状況の中でも、畿央大学生は今年も大健闘しています。12月18日現在での健康科学部の就職内定率は89%を超えています。また、就職先が未決定の学生たちは現在も積極的に活動を継続しています。

畿央大学では、キャリアセンターに各学科専任の担当者を配置し、集団指導とグループ・個別指導の両面から学生の支援を行っています。支援の中核となるのが、「キャリアガイダンス」です。企業就職希望者には3回生の4月から1月にかけて毎週(全29回)実施しています。また、私立幼保就職希望者には、3回生の5月から4回生の7月にかけて20回実施します。病院就職希望者には、5月あるいは8月に集中講座として、就職のため

のガイダンスやセミナーを開催しています。また、学内に企業の人事担当者や病院や施設の責任者等を招いての就職説明会や就職活動に必要な各種準備講座を開催し、手厚い支援を行っています。担当者の個別の相談件数は年間で1000件を超えます。またメールを活用しての相談も随時行い、学生の状況をリアルタイムにつかむことで的確な支援を実現しています。

一方、教員希望者についてですが、平成26年度から教壇に立つ教員の採用試験において小学校教諭で42名という実績でした。中学英語教諭は今年が畿央大学生にとつて初めて採用試験を迎える年でしたが、1名の合格者を出すことができました。また、公立幼稚園教諭・保育士をめざす学生たちも12月18日段階で19名が合格を勝ちとっており、昨年度を上回る実績をあげています。教員採用試験でこれだけの好成績をおさめることができた要因もまた、企業就職への支援と同様、顔が見えるきめ細かな支援にあるといえるでしょう。

進路に応じたきめ細かな支援が
高い就職率につながっています。

畿央大学

第7回冬木学園教育推進プロジェクト(FEP)ホール企画
ソン・ソルナムフルート演奏会を
開催しました。

日本と韓国、
そして世界で活躍中の
フルート奏者 ソン・ソルナムさんの
繊細な音色に感動！



平成25年7月27日(土)冬木記念ホールにおいて、韓国のフルート演奏の第一人者であり、「イ・サン」、「トニイ」などの韓流ドラマのテーマ曲や挿入歌を演奏されたソン・ソルナムさんをお招きしてフルート演奏会を開催しました。

ソルナムさんは、世界的に活躍されており、日本でも、東日本大震災以降、被災地の避難場所や仮設住宅で70回以上のボランティアコンサートを開催されています。また、2012年日本国際飢餓対策機構の親善大使になられ精力的な演奏活動を展開されています。

7月初旬にはホール定員500名を超す申込があり、当日の開場前にはすでに長蛇の列ができ、座席指定券を配布するほどの人気となりました。

この日は、アンコールを含む8曲を演奏。演奏の合間に楽器の紹介や幼少期や奨学生時代の話、韓国にいられたからの演奏活動や東日本大震災以降に何度も福島でチャリティーコンサートを続け、現地の方々に心の復興支援をされたことなどを語っていただき、感銘を受けました。



開学10周年イベント

8月31日(土)
看護医療学科主催
「シンポジウム」を開催



テーマは「いのちに寄り添う看護」。奈良県内の看護学生や先生方、病院の臨床指導者や卒業生などにご来場いただき、基調講演では、淑徳大学客員教授の藤腹明子先生により、いのちの生老病死に寄り添う看護、仏教看護の考え方、看護者として必要なことなどをお話いただきました。

その後、「いのちの現場にふれて」というテーマで、大学で行われる4つの研修・実習の紹介と学びの発表がありました。

後半は、看護の教員・学生・現役看護師など5人のパネリストによる発表と討議が行われました。

8月24日(土)
理学療法学科主催
「特別講演会」と
「シンポジウム」を開催



特別講演会では、大阪大学名誉教授、東宝塚さとう病院名誉院長の松田暉先生に「プロフェッショナルとしての理学療法士への処方箋」についてご講演いただきました。理学療法士を中心としたリハビリテーションチームの重要性、専門職としての生涯教育のお話があり、建学の精神「徳をのぼす・知をみがく・美をつくる」にも触れ、この精神を持ち続けることがプロフェッショナルへの道であると心強いメッセージを投げかけていただきました。

午後からは「理学療法士としての道を拓く」をテーマに、卒業生によるシンポジウムを開催。8名のシンポジストを壇上に迎え、今後の理学療法士の可能性などについて議論されました。

関西中央高等学校

台湾への修学旅行！

関西中央高等学校では、2年生の11月に修学旅行に行きます。平成25年度は11月24日(日)〜27日(水)に台湾台北市に行き、見学や学校間交流を通して異文化理解を深めました。

台湾への修学旅行は平成24年度から始まり、今年度で2回目となります。

学校間交流は、想像していた以上に素晴らしい歓迎を受け、それぞれのグループに分かれ、お土産の交換やグループ毎に違った形で交流を楽しみました。

今回は、昨年度のスケジュールに加えて、学校間交流のあとホームビジットを行いました。これは、ホームステイのショート版であり、日帰りではありますが家庭に訪問をします。生徒達は、学校間交流をした私立建台高級中学校の生徒の家庭に招いていただき、お土産の交換や夕食会といったおもてなしを受け、交流をしました。

台湾には、もともとホームステイの習慣がなく、このような形で訪問を実施するのは難しいと聞いていました。生徒達は最初は抵抗があったようですが、感想を聞くと「すごく充実した時間を過ごす事ができました。また行きたいです。」との喜びの声があがっています。

また、関西中央高等学校と私立建台高級中学校との間に姉妹提携を結ぶ方向に話が進んでいます。これが実現すれば、両校の間にさらなる絆が深まり、今後、異国の文化を交流しあえる学校になっていくことに期待しています。



畿央大学付属幼稚園

今年も米作り挑戦

今年も継続して米作りに挑戦しました。今年は、「パパの会」を発足して保護者のパパに田植えをしていただかずか3時間で無事に田植えを終えることができました。

今年のテーマとして、完全無農薬に挑戦しました。しかし、夏の暑い日に草が茂り、稲なのか草なのかわからないほど雑草が増え、職員みんなで汗をかきながら草刈をしました。また、今年は猛暑のため朝でも猛烈な暑さになるために、朝7時から草刈をした日もありました。今年の作柄は、良好とのこと、草引きも十分に行い水の管理も行なったので、今年の米の収量は昨年比で相当増えると期待していました。しかし、毎年お世話になるお米の乾燥をお願いする農家さんで、玄米にした米を引き取りに行ったときに、今年は収量が少ないといわれて残念。そこで、来年に向けてのアドバイスを頂きました。毎年、農家は1年生と言われますが、まさにその通りだと思います。そして、この無農薬米は、1月からの給食で頂きます。

